



「こどもと本」香里ヶ丘市民学級 2021年度 講演会

講師：正置 友子(まさき ともこ)氏

人生最初の「リミナリティ」体験を考える

—幼児期の子どもが、姉・兄になる時—

下に赤ちゃんが生まれたとき、お姉ちゃんやお兄ちゃんになる子どもたちは、かない苦悩します。その苦悩をどの様に表現するかは、その時の子どもの年齢によって異なります。このテーマで出版されている絵本は何冊もあり(日本、アメリカ、イギリスなど)、その作品を見ることで、生きていく過程のなかに通らなければならない試練が表されています。この試練を「リミナリティ」と呼びます。

●子どもの本が好きの方、興味のある方は、どなたでも参加できます
参加ご希望の方は下記までご連絡下さい。

会場では密を避けるため人数を半分に実施します。マスク着用必須。

講演日 2021年11月19日(金)
時間 午前10時～12時(9時45分開場)
会場 枚方市立香里ヶ丘図書館2階(枚方市香里ヶ丘4-2-1)
定員 25名

参加費：無料

正置 友子氏 プロフィール

1940年生まれ。1994年イギリスに留学しヴィクトリア時代の絵本研究で2000年ローハンプトン大学で博士号を取得。イギリス子どもの本歴史協会より、「ハーベイ・ダートン賞」を受賞。現在も青山台に暮らしながら絵本学研究所を主宰。2017年「イギリス絵本留学滞在記」風間書房(女性の方々への旅立ちを勧める本)、2018年「メルロ＝ポンティと<子どもと絵本>の現象学—子どもたちと絵本を読むということ—」風間書房(子どもたちを絵本で応援したい人に。)等、多数出版。

主催：「こどもと本」香里ヶ丘市民学級

問合せ・申し込み：TEL&FAX 072-845-3615(西原)
072-848-3984(更谷)



◇この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育振興機構」が保有する個人情報の適切な管理に関する規定に基づいて子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。